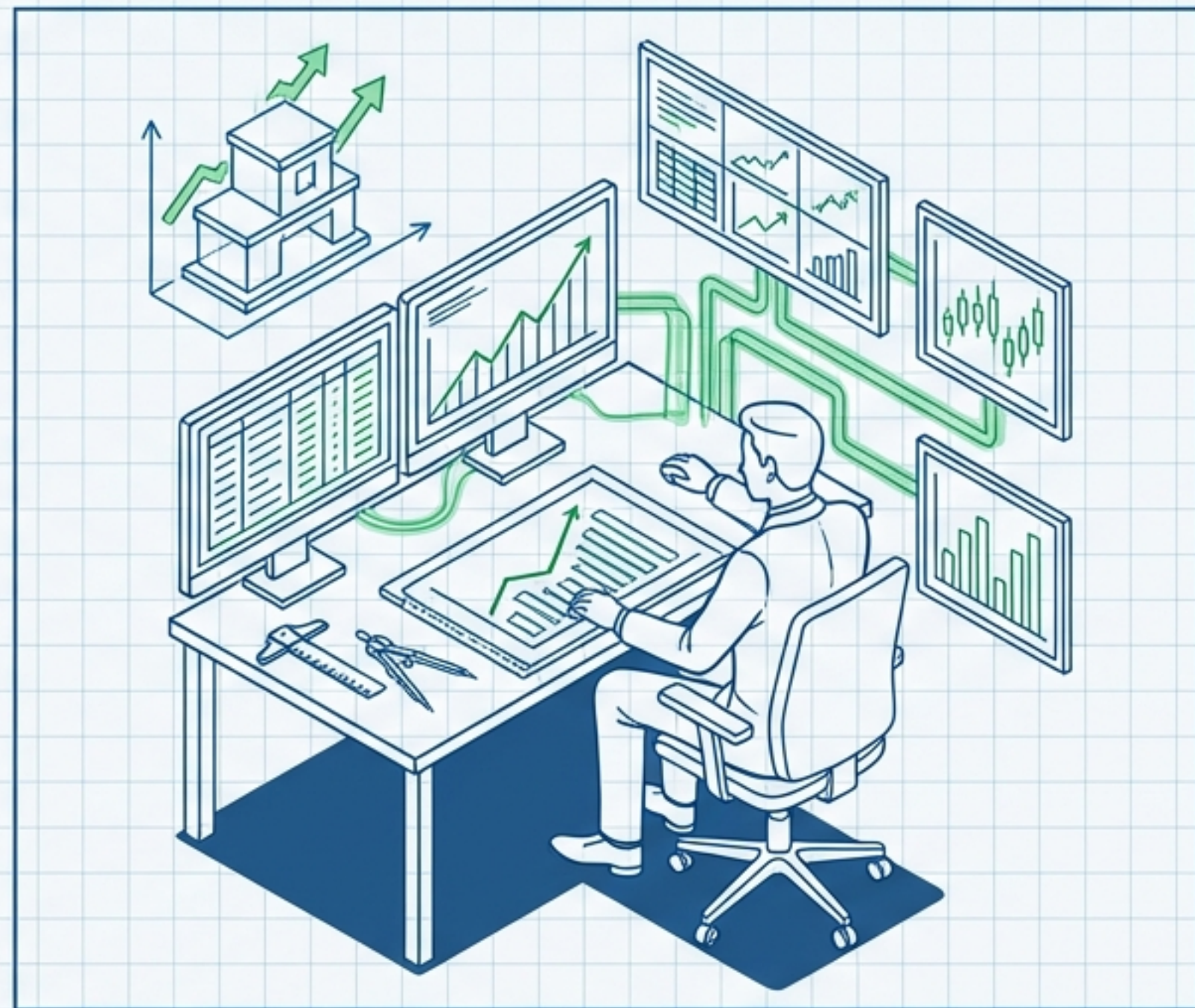


会社員が「時間」ではなく「設計」で 勝つためのスイングトレード戦略

張り付けないことを「最強の武器」に変える思考法



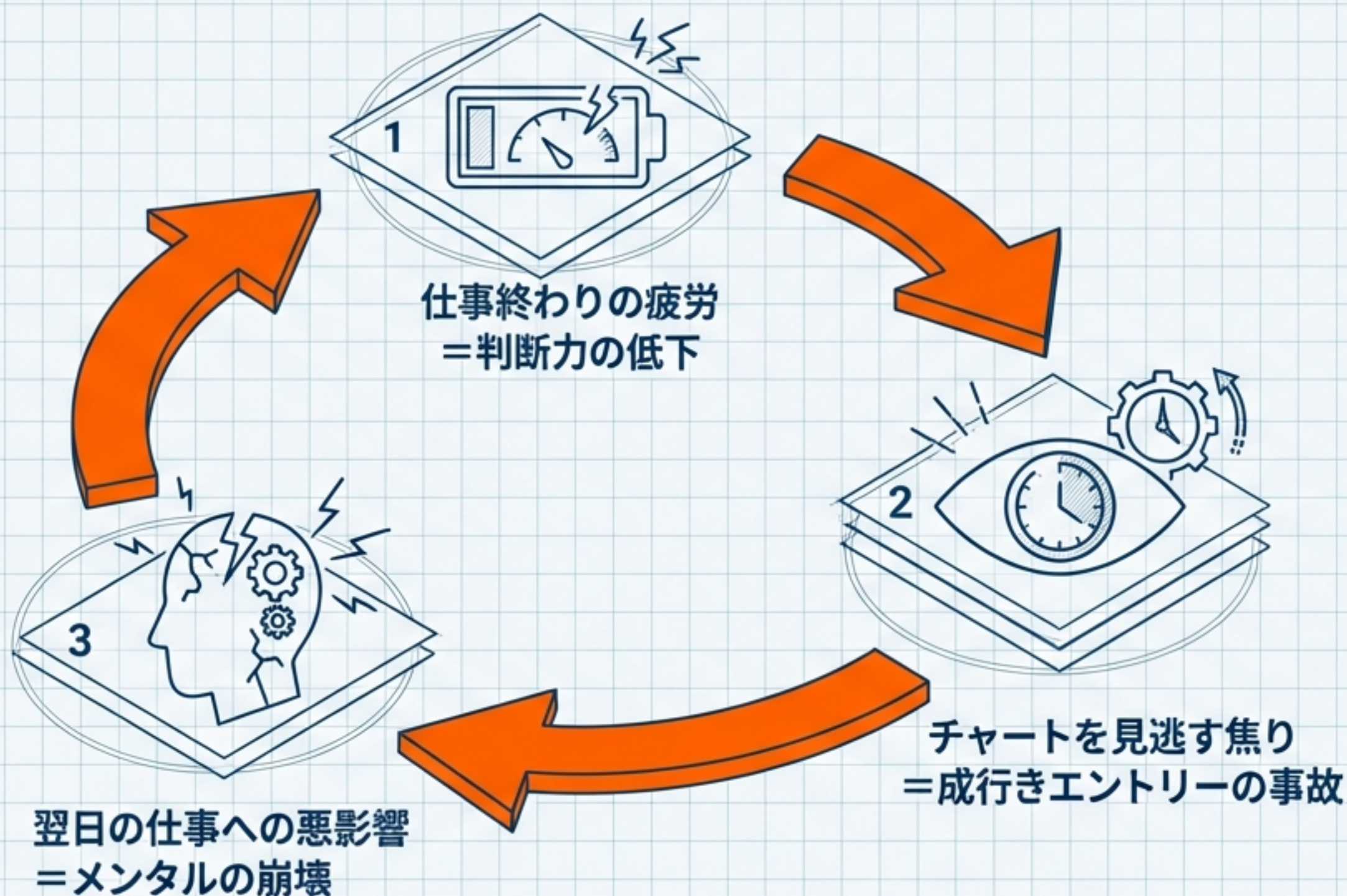
会社員のジレンマ：「時間がないから勝てない」は半分正解で半分勘違い



**短期売買（スキャル・デイトレ）は「観察時間」が武器の競技。
しかし、スイングトレードは「設計」が武器の別競技である。**



専業と同じ土俵（時間）で戦うと、会社員は必ず壊れる



努力不足ではない。
構造的に不利な
戦い方をしているだけ。

会社員には
「張り付けない前提」
の戦い方が必要。

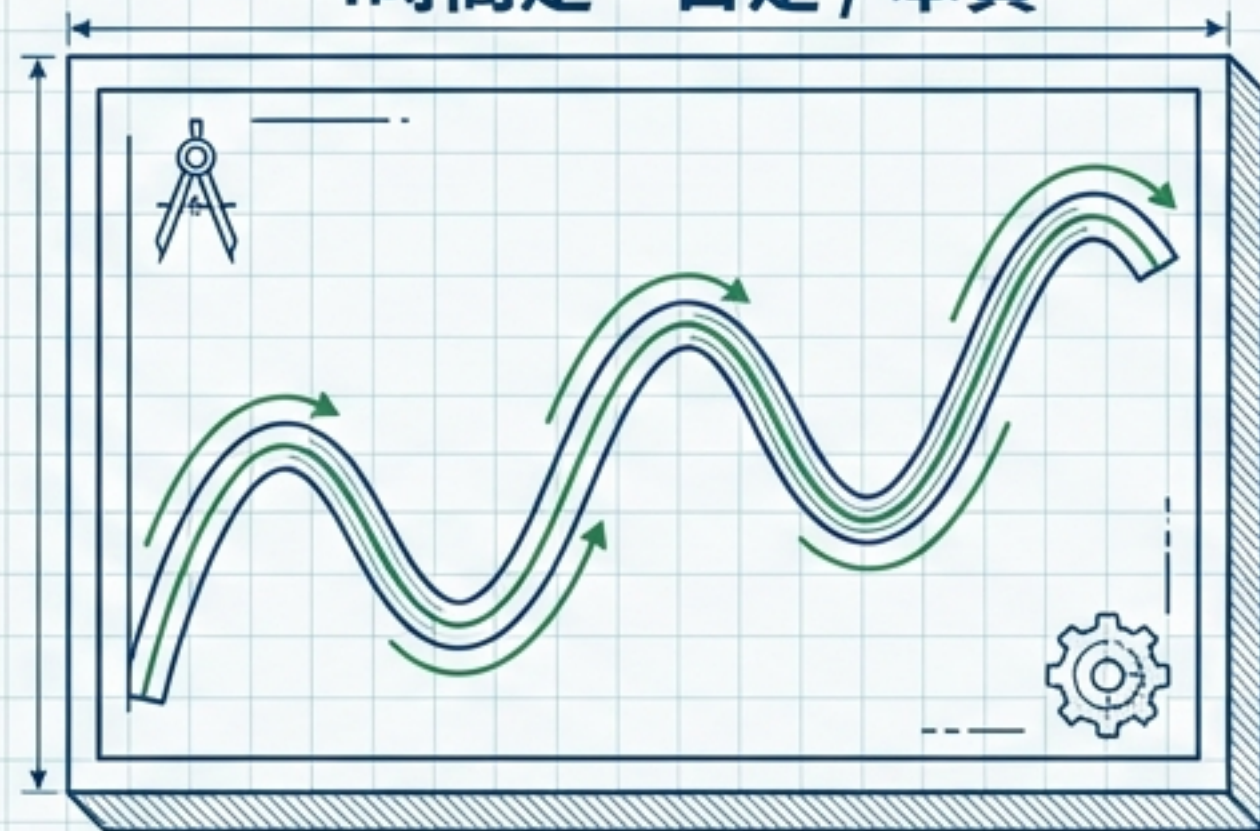
スイングトレードは「分析時間が短いほど強い」

1時間足 / ノイズ



迷いが生じる (ノイズ)

4時間足・日足 / 本質



判断がブレない (本質)

ローソク足の進みが遅い = 昨日と今日で景色が激変しない。大きな波だけを捉える。

トレードが生活を破壊しない「理想のルーティン」



一番大事なのは手法ではなく「生活と両立」できること。

安定した利益

安定した利益

①方向
(環境認識)

②参入
(指値の自動化)

③出口
(利確の設計)

凝りすぎない。本質はこの3点に集約される。

柱①：方向を間違えない（トレンドのみを狙う）

勝てるゾーン
(トレンド)

捨てるゾーン
(レンジ)



長期・中期の
通貨強弱をチェック



ダウ理論で「トレンド中」
であることを確認



レンジ相場は
最初から捨てる

「戦う場所」を絞るだけで勝率は変わる。

柱②：エントリーの自動化（成行き注文の禁止）

BAD

成行き

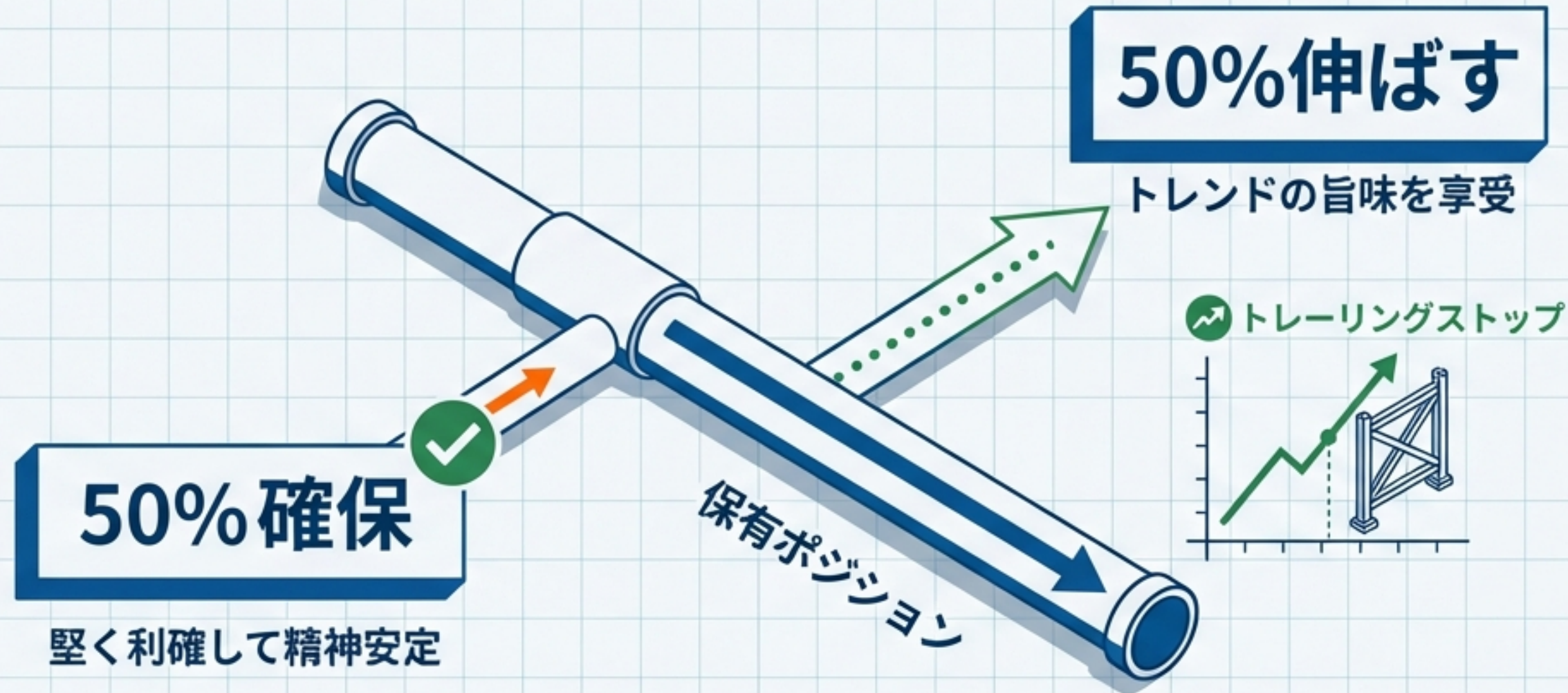
感情任せの高値掴み

GOOD



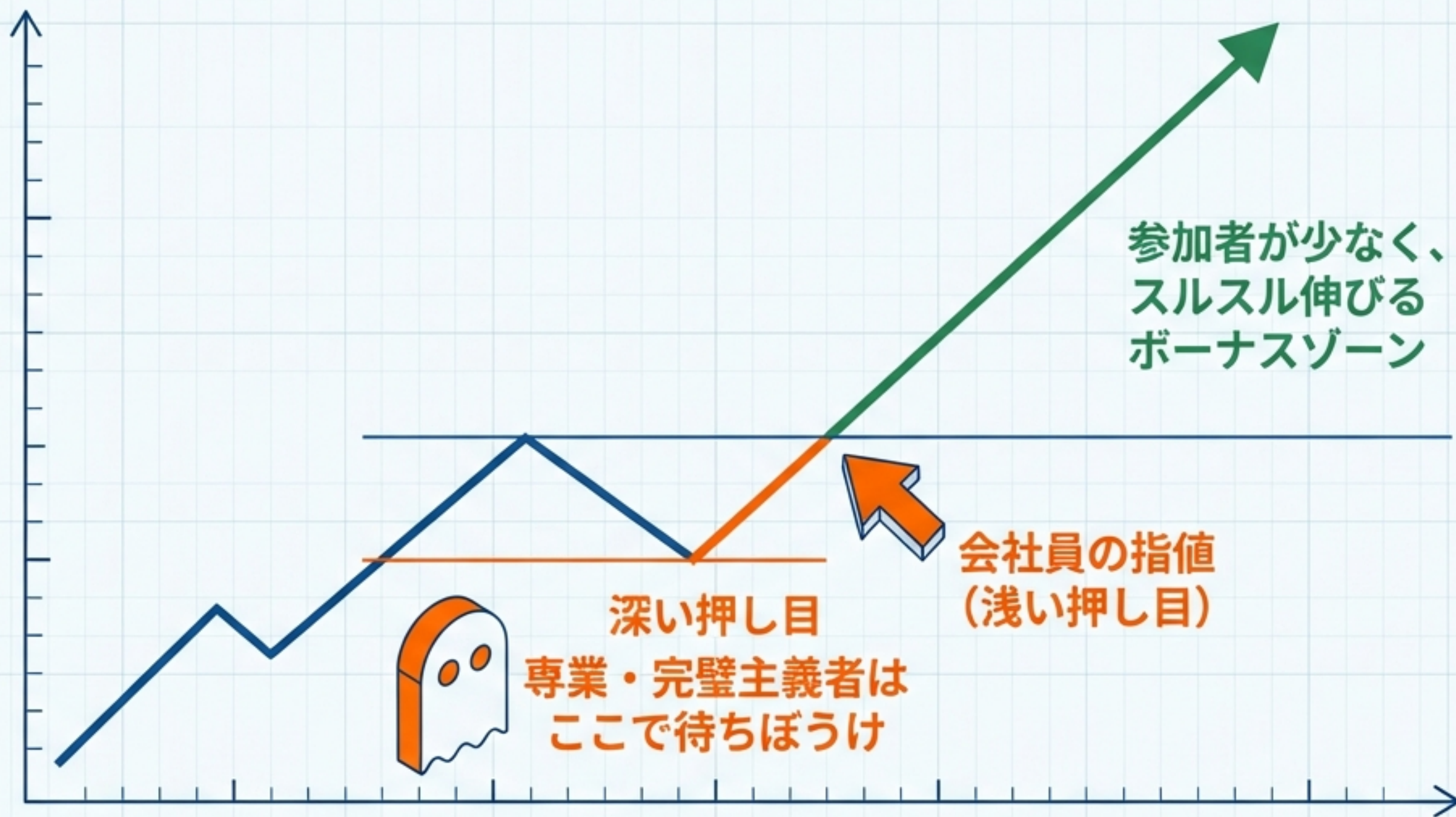
「勝つため」ではなく「損しないため」に指値を置く。

柱③：利確の設計（欲と後悔を排除する）

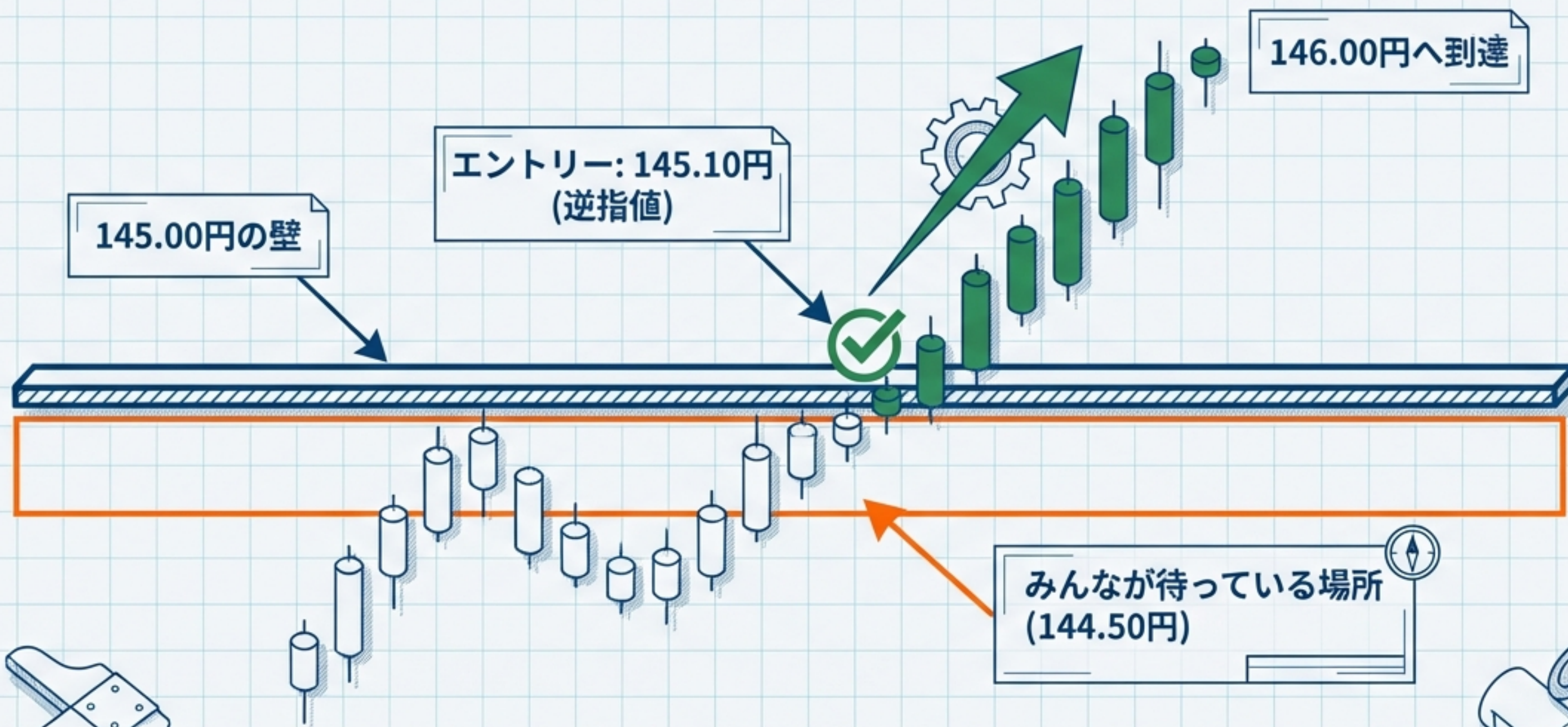


「取り逃しの後悔」と「利確し損ねの損失」の両方を防ぐ仕組み。

会社員の勝ち筋は「ブレイクアウト」にある



具体例：ドル円（USD/JPY）のブレイク局面



給料という「最強のメンタル安定剤」

専業



専業は「勝たないと食べられない」。

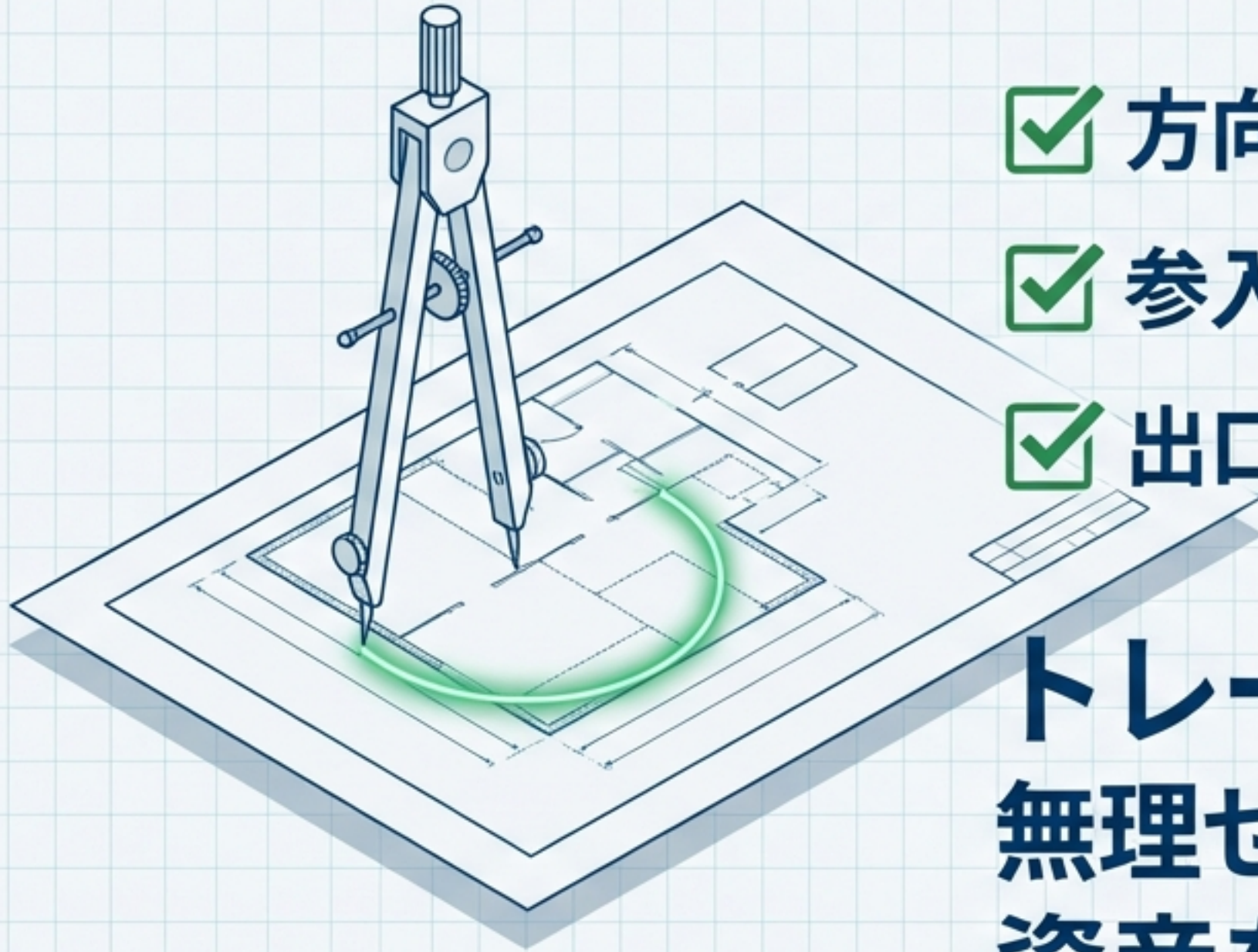
会社員



会社員は「待てる」。
この「待てる」ことこそが最大の優位性。

「大きく勝つ」ことより「退場せずに続ける」ことが資産形成の近道。

結論：プロを目指すな。「設計者」になれ。



- ✓ 方向: 環境認識でトレンドのみに絞る
- ✓ 参入: 成行きを捨て、指値で待ち構える
- ✓ 出口: 分割利確でメンタルを守る

トレードは生活の敵ではない。
無理せず、淡々と、自分のペースで
資産を積み上げよう。